



立場は人をつくる

校長 岩田 明正

先日、テレビでコロナ禍が子どもたち（番組では中学生でしたが）の学びに影響し、いかに大変な思いをしてきたかという番組が放送されていました。良い影響がでた例もあり、少々ほっとした場面もありましたが、大半の子どもたちは学校に登校できないことの寂しさ、いかにオンライン学習を取り入れたとしても、自分たちで学習を進めなくてはならない苦しさ、そして、そのことによる教育の格差拡大、進路への影響など、深刻な課題が浮き彫りになっていました。考えさせられることが多く、あらゆる手段を尽くして、学校で子どもたちがみんなで学び合える機会を守らなくてはならないと決意を新たにすることができました。

さて、舞岡小学校では多少実施形態を変えてでも学校行事を計画通り行っていこうと考えております。先に行われた授業参観、懇談会もそういった方向性で行いました。保護者の皆様のご協力もあり、無事に終わることができましたこと、そしてなにより保護者の皆様に子どもたちの学習活動を見ていただけたことうれしく思います。お子様の学校での姿を見ていかがだったでしょうか？

私が子どもたちの生活を見て最近感じることは、それは学年が一つ上がると、雰囲気が変わるということです。3月からまだ、1ヶ月くらいしかたっていないのになんだか急にお兄さん、お姉さんになったという感じがします。1年生も入学式の様子から比べて随分と落ち着いてきたという印象を受けます。もちろん人それぞれですから全員が、というわけではありませんが、それでも学年全体をみると成長しているなあという感じがするのです。

例えば、朝の登校班の班長さん。つい最近まで卒業した先輩たちにまとめてもらっていたのですが、次の人に引き継がれると、今までは引率してもらっていた側の顔つきとはガラリと変わって、立派に班長を務めている姿が見られます。また、放送での集会の運営も、昨年度までの様子とは違って、堂々として行っていました。廊下や教室の方に行ってみると、下級生に職員室の入り方を教えていたり、困っている子の話を聴いて、的確にアドバイスをしていたりする姿が目に入ります。失礼な言い方ですが「あれ？この人はこんなにしっかりしていたっけ？」「こんなに凛々しい顔つきだった？」と思うことも増えてきました。繰り返しになりますが、まだ、たった1ヶ月余りです。それなのになぜここまで雰囲気が変わるのでしょう。本当に子どもたちの成長には驚かされます。

よく「立場が人をつくる」といわれます。子どもたちは自分たちの学年が一つ上がり、先輩として下級生の面倒を見る立場になった、自分たちが学校の活動を支えていくのだという立場になったことを自覚しているのでしょうか。その自覚のもとになっているのが、かつて自分たちが先輩たちにしてもらったことに基づいているのは間違いありません。その善き伝統が受け継がれる限り、舞岡小学校は大丈夫！という安心感を持つことができます。とはいっても、まだ年度は始まったばかり、これから様々な場面に遭遇することでしょう。その経験をもとに子どもたちがどこまで成長するか。とても楽しみです。

4月 各学年の活動の様子

1年生「一年生を迎える会」

26日(月)には、2年生から6年生が準備をしてくれていた、一年生を迎える会がありました。今年度は、テレビ放送での迎える会でしたが、「どんなことをしてくれるのだろう」と目を輝かせて見ていました。

上級生からは、メダルをもらったり、「校歌」「舞岡の子よ」の歌詞をもらったりしました。これからも、上級生に支えてもらいながら生活していくことを実感し、安心した様子でした。



2年生「学年開き」

8日(木)、新2年生のスタートとして学年集会を行いました。担任の自己紹介の後、前日の着任式・始業式での態度を振り返ったり、2年生としてがんばっていきたいことを確認したりしました。みんなしっかりと顔を上げて、やる気に満ちた表情で話を聞く様子から、これからの1年間での成長がとても楽しみになりました。

その後は、学年全員でドッジビーをして楽しむことができました。



3年生「初めての移動教室」

3年生になり、音楽と図工の授業が専科となりました。初めて使う教室にワクワクしながら、一生懸命に取り組んでいました。

音楽では姿勢に気をつけ、きれいな声を出すことを意識して「春の小川」を歌いました。

図工では「きつつきの商売」のブナの森を色鮮やかに表現しました。混色をして新しい色を作り出すことを楽しんでいました。



4年生 「春の生き物探し」

理科の学習で春の植物や動物を探しに行きました。「きれいなお花があったよ。」「てんとう虫がいたよ。」「どこ、教えて。」などと交流し合い楽しんで学習をしていました。

これから調べたい植物や動物を決め春夏秋冬調べ、四季の移り変わりに生き物にどのような変化があるのか観察していきます。



5年生「最高学年へ ジャンプ」

学年目標が決まりました。「最高学年目標へジャンプ! ~協力の輪 やさしさの輪 リーダーシップの輪~」です。高学年に仲間入りし、低学年を優しくリードしながら、6年生とすてきな学校を作っていきたいという想いから、みんなで考えました。

また、初めての委員会活動が始まりました。同じ委員会の友達と協力しながら、生き生きと活動する姿が見られています。



6年生「委員会スタート!」

13日(火)より、委員会活動が始まりました。活動前に6年生で集まり、委員長・副委員長・書記の役割を決めたり、活動の目的や内容を話し合ったりしました。一人ひとりが自分の考えをもち、意見を出し合う姿から、最高学年としての自覚をもって行動しようとしていることが伝わってきます。

舞岡小学校の新リーダーとして、学年で協力し、支え合いながら取り組んでいきたいと思えます。



個別支援級「4くみ畑 土づくり」

生活の学習で4くみ畑の土づくりをしました。今年度は昨年度育てたサツマイモと、新しくひまわりを育てることになりました。畑に生えた雑草をぬき、土をほぐして肥料をまぜました。子どもたちが声をかけ合い、協力して活動する姿が見られました。今後も活動を楽しみながら学べるよう、支援していきます。



専任より

子どもが不審者に遭ったり、怖い思いをしたりした場合は、**すぐに迷わず110番**にて警察に知らせてください。通報が遅ければ遅れるほど、不審者を見つけるのは難しくなるそうです。警察に通報した後で、学校にもお知らせください。近隣小学校、中学校で情報を共有しています。また学校警察連絡協議会という組織もありますので、そちらにも報告をしています。学校としては、**安全のためいつもの通学路で、まとまって下校**するよう子どもたちに伝えています。

ただし、警察の捜査の妨げや、人違いによる人権問題に発展する可能性もありますので、学校から保護者の方に詳しい情報を提供することは難しいです。警察の「**ピーガルくん子ども安全メール**」に登録すると正確な情報を手に入れますので、是非ご登録下さい。